

国立感染症研究所細胞科学部第三室研究員 募集

【募集部署】	国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所細胞科学部第三室
【勤務地】	国立健康危機管理研究機構 戸山本部キャンパス(東) 東京都新宿区戸山1-23-1 国立感染症研究所 ＜変更の範囲＞国立健康危機管理研究機構の事業場
【募集職種】	研究員（任期付常勤職員）
【採用人数】	1名
【職務内容】	細胞科学部は、感染症その他の特定疾病に関し、予防衛生に関する生化学的及び細胞生物学的調査及び研究を行うことをつかさどる。このうち第三室は、細胞科学部の所掌事務のうち、生体膜機能に係るものをつかさどる。 うち採用予定職では次の業務を行う。 1. 感染症対策に資する宿主細胞因子機能に関する研究 2. 宿主細胞因子と病原体の相互作用に着目した病原体感染の分子メカニズムに関する研究 3. 新規モダリティ等を用いた抗感染症治療薬開発に資する基盤的研究(感染症モデル動物を用いた研究も含む) 4. 生物学的製剤の承認前検査にかかる物理化学的試験 ＜変更の範囲＞国立健康危機管理研究機構における研究等業務
【選考基準】	1. 生化学、分子生物学、及び細胞生物学の知識、技術、及び業績を有すること。 2. 哺乳動物細胞因子に関する研究や新規モダリティを使用した創薬研究経験を有すること。特に、これらに関する業績があることが望ましい。 3. 感染症研究の経験(BSL3 病原体の取り扱い、及び動物実験の経験を含む)を有することが望ましい。 4. 生物学的製剤の承認前検査(物理化学的試験)に対応できる研究能力を有すること。 5. 学位(博士)取得者、もしくは同等と認められる者。 ※上記1から5を満たすこと ※なお、次のいずれかに該当する者は、応募できませんのでご了承ください。 ①拘禁刑(禁錮)以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたは執行を受けることがなくなるまでの者 ②当機構にて懲戒解雇の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者 ③日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者
【採用予定日】	令和9年1月1日以降、原則1日付
【雇用期間】	5年（試用期間:採用日から6ヶ月間）

※契約の更新:無

【給 与】

<基本給月額> 346,000 円/月 ※各種税控除前の金額
<業績手当> 年 2 回(6 月・12 月)、状況等により変動有
<他主要手当> 地域手当(上記基本給の 20%)、通勤手当
<定期昇給> なし

【勤務形態】

9時00分から17時45分(休憩時間12時～13時)
休日:土日祝、年末年始 12/29～1/3
休暇:年次有給休暇、リフレッシュ休暇、特別休暇(忌引等)
※業務の都合により、超過勤務が生じる場合あり
※勤務開始時間の変更・フレックスタイム制の適用は相談可

【そ の 他】

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入
※処遇詳細は、「職員就業規則」及び「職員給与規程」による。

【選考方法】

書類選考及び面接
※面接試験にかかる交通費等の支給なし

【応募書類】

・履歴書(写真添付、別添様式例による、PC から連絡可能なメールアドレスを記載)
※学歴は高等学校卒業以降から記載
・学位記(写し)または学位を証明するもの
・主要研究概要(1,200字以内)
・応募職の業務内容に関する抱負(1,000字以内)
・業績目録(A4版縦 横書き、別紙参照)
・論文別刷(1編以上)
・書類送付先またはメールアドレスに9月30日(水)12時必着で送付してください。
・下記募集部署を封書の場合は朱書き、メールの場合は件名にしてください。
『国立感染症研究所細胞科学部第三室研究員 応募』
・応募書類は採用審査の用途に限り使用し、返却いたしませんのでご了承ください。
・応募書類の提出に応じて締め切り前であっても随時、選考を行います。
・面接はオンラインにて実施することがあります。

【書類送付先】

〒162-8640
東京都新宿区戸山1-23-1
国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所総務部人事課 担当: 宇田川、西山
メール:koubo-niid@nih.go.jp
TEL:03-5285-1111 (内線)2073、2024

履歷書

年 月 日現在

写真をはる位置

写真をはる必要がある場合

1. 縦横
2. 本人単身胸から上
3. 裏面のりづけ

ふりがな		写真をはる必要が ある場合 1. 縦 横 2. 本人単身胸から上 3. 裏面のりづけ
氏 名		
年 月 日生 (満 歳)		※性別
ふりがな		電話
現住所 〒		
ふりがな		電話
連絡先 〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)		

[illegible]

※「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

業績目録

氏名 _____

1. 著書

2. 学術論文（学会誌発表等）

（1）欧文

（2）邦文

3. 学会発表（講演・発表等）

4. 外部資金（研究費）獲得状況（研究代表者のみ、直近5年）

（記入上の注意事項（共通））

1. 上記項目ごとに、著者名等、著書名等、発行所名（発表雑誌名）の順で記載し、それぞれを改行すること。

2. 年代の新しいものから順に記載すること。

3. 発行所名、発表雑誌名の次に巻号、ページ数及び発行等の西暦を記入すること。

（例：Journal of Virology, 78:1298-1315, 2002）

4. 欧文の発表等は、原文のまま記載し、下段に（ ）書で和訳を記載すること。

5. 各題名の書き出しに、発表形態の種別を記載すること。（単独は（単）、筆頭は（筆）、その他は（他））

6. 著者名等は、本人以外も省略せず全て記載し、さらに本人の名前にアンダーラインを引くこと。

7. 長期の無発表期間がある場合は、その理由書を添付すること。

8. 査読有りの論文については最低限、記載すること。

(参考例)

1. 著書

①機構太郎、感染太郎

(他炎症の組織病態

〇〇社, PP. 67-87, 1989)

2. 学術論文

(1) 欧文

①Taro Kansen, Jiro Kansen, Saburou Kansen, Tarou Kikou, Jiro Kikou, Saburou Kikou

(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in USA , 2002

(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2002年アメリカ)

Epidemiology and Infection, 15:286-289, 2002

(2) 邦文

①感染太郎、感染二郎、感染三郎、機構太郎、機構二郎、機構三郎

(筆) An Outbreak of 〇〇〇〇〇〇〇 Infection in Oosaka, JAPAN, 2004

(〇〇〇〇〇〇〇感染症のアウトブレイクー2004大阪)

Epidemiology and Infection, 16:311-335 2004

3. 学会発表

①感染太郎

(単) ラット皮下腫瘍の消長と〇〇〇の相互関係について

第25回日本病理学会総会, 東京, 1989

4. 外部資金(研究費)獲得状況(研究代表者のみ、直近5年)

①厚生労働省、〇〇(課題名)

期間: 令和〇〇年~令和△△年、金額〇〇〇円/年

②科学研究費補助金、(課題名) □□□□□

期間: 令和〇〇年~令和△△年、金額〇〇〇円/年